

♡ 平成 29 年度 「保健師・助産師・看護師合同研修会」

～母子の切れ目のない支援のために 第2弾～

医療現場や行政の行っている母子保健の取り組み状況を共有し、保健師・助産師
看護師・多職種が連携して今行っていること、今後できることは何かを考える。

平成 29 年 9 月 30 日（土）看護研修会館にて「保健師・助産師・看護師合同研修会」を実施しました。
保健師 33 名、助産師 22 名、看護師 26 名、医療相談員 1 名、臨床心理士 1 名の合計 83 名が県内から参加
してくださいました。

また、各職能委員会合同で企画し委員 25 名も当日の運営、グループワークのファシリテーターとして生
き生きと活動していました。

研修内容

報告「平成 28 年度公益社団法人日本看護協会受託事業

子どもと子育て世代包括ケア推進のためのモデル事業報告」

報告者：保健師職能委員長 西原洋子氏

シンポジウム

テーマ「看護がつなぐ母子の切れ目のない支援のために」

座長：鹿児島県看護協会専務理事 原田ケイ子氏

- | | |
|------------------------------------|---------|
| 1) 南薩地域振興局保健福祉環境部健康企画課技術補佐 | 永濱 たか子氏 |
| 2) 医療法人愛育会愛育病院外来看護師長 | 角田 亜美氏 |
| 3) 医療法人明輝会よしの訪問看護ステーション看護師 | 室屋 孝子氏 |
| 4) 鹿児島市健康福祉局こども未来部
母子保健課課長（保健師） | 吉住 嘉代子氏 |

